



【入学式～晴れやかに】

4月7日(月)、新任式・始業式に引き続き、入学式が実施されました。

67名の1年生の入学を、教職員そして2年生から6年生の児童たちが心待ちにしていました。そして、見事に咲き誇った校庭の桜が、新しい仲間たちを歓迎しているようにも感じられました。

担任を先頭に体育館に入場してくる子供たちの表情からは、期待、緊張、不安など、様々な感情がうかがい知れました。そんな中でも、どの子供も姿勢を崩したり、おしゃべりしたりすることもなく、立派な態度で式に参加することができていました。

校長からのあいさつ(式辞)の中で、子供たちには、始業式でも話をした「元気にあいさつをしよう」「思いやりを持って人と接しよう」「大切な命を守ろう」の3つを伝えました。少し難しいかとも思いましたが、よく聞いてくれていました。問いかけに対しての反応も素晴らしく、大きな声で「ハイ!」と返してくれる子供がたくさんいたことも嬉しかったです。

保護者の方に向けたメッセージは以下の通りです。原文のまま掲載させていただきます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、本当におめでとうございます。

今日から、皆様が愛情を注ぎ、大切に育ててきた子供たちをお預りします。一人一人の個性を大切にし、心に種をまきながら、心身ともに健やかに成長できますよう、教職員一丸となって努力していきます。

そのためにも、学校とご家庭が同じ方向を向いて、宝物である子供たちの教育に当たることが何より大切だと考えています。坂東小学校の教育に対して、ご理解とご協力をお願いします。

子供たちは日々成長し、できることが一つ、また一つと増えていきます。小さなことでも、その成長をたくさん見つけ、一緒に驚いたり、喜んだりしてあげてください。いつも自分のことを見守り、大切にしてくれる家族がいる、ということが子供にとって一番のお守りなのです。

これからの毎日、子供たちの命と安全を守り、未来を切り拓く力をつけていけるよう、本校の全ての教職員が関わっていくこととお誓いして、式辞といたします。



私が特に伝えたいのは、「学校と家庭が同じ方向を向いて子供たちの教育に当たる」ということと「成長をたくさん見つけ、一緒に驚いたり、喜んだりしてほしい」ということ。保護者の皆様も学校も「子供をよりよく成長させたい」という思いは一緒のはずです。もしかしたらこの先、学校の指導等に不満や疑問を感じることもあるかもしれませんが、根底にある思いは一緒であるということをご理解の上で、子供に声をかけたり、学校への相談や意見をいただけたりとすると有り難いです。

子供たちは、それぞれ良いところがあり、成長の仕方も一人一人違います。他人と比べて足りない部分を探すのではなく、昨日より今日、少しでも成長したところがないかを見つけていきましょう。それを「認め」「励まし」「ほめる」ことによって、自信と意欲を高め、確かな成長へとつなげていけたらと考えています。

入学式を終え、義務教育9年間の第一歩が順調に踏み出せたのではないかと思います。学校と家庭が、絶えず連携を図りながら、子供たちの健やかな成長を支えていけるよう、今後もよろしくお願いいたします。

